

静岡分苑だより

2026 春号

静岡分苑では、安国分所の名古屋和泉さんの声かけにより短歌や冠沓句に取り組まれる方が増えてきました。この度、ふじのくに短歌会の指導者であります佐々木先生の節分献灯冠沓句巻開きの挨拶がとて心に残りましたので掲載させていただきます。



富士山とこのはなざくら
(2026年1月16日 静岡分苑から撮影)

一人ひとりが心の岩戸を開きつつ
愛善世界の光とならむ

出口紅

節分献灯冠沓句に 楽天社代表 佐々木敏朗

開教134年 大本節分大祭献灯冠沓句に、今年も全国から昨年と変わらぬお作品をお寄せ頂きました。今年もお預かり致しました全てのお作品は、大本節分大祭にお供させて頂き、参道にも掲げています。誠にありがとうございます。

献灯冠沓句とは、神様にお供するものなので、作者のきれいな眼で捉えた、具体的な感動を素直に表現すると言われています。五七五という、いずれの作品からも一点を深く鋭く捉えながら、教主様のご教導のもと大本信徒としての生き方、考え方を貫く、深い祈りと実践の思いが、上滑りのない優しい言葉で、単刀直入に、端的に簡潔に言い表わされています。

特に、梅の巻 天位の句は「たくましく神命貫く開祖様」との開祖様の不動の真実の思いを、私たちの胸にとどめしめ、今年から再び始まる尊いご神業の一端を鋭く捉えた「松の巻」四光明の句 「開教の仕組整う綾の郷」「天も地も一つに治め守る神」「たくましくわが天命を果たしゆく」とのご神業に向う、私たちの大きな喜びを誰一人洩れ落ちる事なく、ともどもに参加し実現してゆくべく三代様の常々お示めし下さっている「生きていく限り求めて止まない清く美しいもの」を目標に「誠実で美しい教風の確立」をめざす教主様のもと、献灯冠沓句の一句一句の作品が、私たち大本信徒の「主一無適の信仰」を培う糧となり、力となりますよう、引き続き、一層のご努力とご精進を大本楽天社に賜りますようお願い申し上げます。お札に替えさせていただきます。

令和8年度の主な予定（前期）

| 月日 | 行事 | 場所 | 備考 |
|----------------------|-----------------------------------|-----------------|-----------------|
| 2月28日～3月1日 | 東海サミット | 愛知 | 担当：名古屋分苑 |
| 3月8日 | 月次祭・慰霊祭 前田特派 講話 | 静岡分苑 | |
| 3月22日 | 宣伝使オンライン研修会 | オンライン (ZOOM) | 宣伝使および宣伝使候補の信徒 |
| 3月26日～28日 | 高校生講座 | 聖地 | 新高校1年生～高校3年生 |
| 3月31日 | 綾機神社 地鎮祭 | 梅松苑 | |
| 4月5日 10:00～ | 春季大祭・観桜茶会 前田特派 講話 | 静岡分苑 | |
| 4月12日 13:00～15:00 | 愛善歌奉納大会練習 | 静岡分苑 | |
| 4月29日 13:00～15:00 | 愛善歌奉納大会練習 | 静岡分苑 | |
| 5月4日 | 教主古希慶祝梅松祭 / 愛善歌奉納大会 | 天恩郷 | 奉納曲「栄光」 |
| 5月5日 | みろく大祭 / 梅松苑食堂奉仕 | 梅松苑 | 食堂奉仕担当：静岡分苑 |
| 5月24日 | 錬成道場 | 静岡分苑 | 担当：静岡分苑 |
| 6月14日 | 青少年担当 月次祭 | 静岡分苑 | |
| 6月21日 | 静岡分苑 宣伝使信徒研修会 | 静岡分苑 | |
| 7月18日～20日 | 日本・ブラジル・モンゴル青年合同「AIZEN SEMINARIO」 | 天恩郷 | ・全国青年 ・通訳募集中 |
| 7月26日 | 夏期学級 | 静岡分苑 | |

【編集後記】

3月8日の月次祭・慰霊祭、4月5日の春季大祭および観桜茶会では、それぞれ前田特派による講話を執り行います。前田特派は前日から来苑されますので、お取次ぎやご相談のある方は、あらかじめお申し出ください。5月4日には、教主さまの古希をお祝いする愛善歌奉納大会がございます。

また、5月24日には静岡担当による青松会錬成道場を実施いたします。6月は青少年担当の月次祭、7月は静岡分苑の夏期学級と、後継者育成に関わる行事が続きます。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。二代教主毎年祭の日には、綾機神社の地鎮祭が執行されます。いよいよみろくのみ代が近づいてきた感がいたします。教主さまのご教導を基に反省し、心を清め磨いて、みろくの世の住人にならせていただきますよう。

【発行者】大本静岡分苑

〒421-3306 富士市中之郷小池下2353-1
谷田 新樹

直心会 活動報告

- 長生殿 献勞奉仕
令和7年11月15日(土)に綾部の長生殿の献勞奉仕に行ってきました。参加者は9名でした。作業内容は長生殿、老松殿、鶴の間、亀の間のはたきかけ、廊下と畳拭きを行いました。また、長生殿裏の落ち葉かきや草ひき、外玄関の戸袋拭きを行いました。
- 和気あいあいと楽しく行いました。
- 月次祭直心会担当
11月の静岡分苑月次祭の祭員仕事をさせていただきました。
- 誠心会を中心として直会作りをご協力いただきました。ありがとうございます。
- 令和8年度の節分大祭の瀬織津姫に志太支部の谷田さおりさんがご奉仕されました。
- 月次祭時には献金バザーを行っています。

(文 秋田昭子)



第3回祭式講習会

- 11月29日(土)
講師・出口飛鳥先生
- ① 講座「霊界に旅立つ前に」
- ② 講座「大本いろは(質疑応答)」
- 【内容】
大本本部 霊祭課より、出口先生に葬祭についてお話を伺いました。
家族間でも話し合いにくい葬祭ですが、「大本式でお願いしたい」という一言を伝えておくこと、「誄詞」のために必要な情報を残しておくこと、そして日頃のつながりを大切にすることの重要性を改めて感じました。また、「みたままつり」の意義についても深く考える機会となりました。
- 「大本いろは」講座では、さまざまな質問に丁寧にお答えいただき、理解がより深まりました。
- 【参加者】
28名(講師1名、西部18名、中部4名、東部1名、その他4名)
- 11月30日(日)
祭式講習会(椅子式による祭典)
- 【内容】
午前中は松風支部の月次祭(自由参拝)を執り行い、午後からは椅子式による正中動作などのご指導をいただき、その後、いくつかのグループに分かれて練習しました。

- 【参加者】
26名(講師1名、西部13名、中部8名、東部2名、その他2名)

天候にも恵まれ、多くの方にご参加いただき、ありがたく思いました。

葬祭やお墓に関するさまざまなお話を伺うことができ、多岐にわたる学びに満ちた充実した時間を大勢の皆さまと共有できました。

(文 名古屋和泉)



Saluton!

こんにちは

静岡分所

静岡分所は、昭和60年10月に設立され、おかげさまで本年、40周年という大きな節目を迎えることができました。当分所では、大神様、竜宮の乙姫様をお祀りしています。月次祭は毎月第一土曜日。最高年齢97歳の方をはじめ、皆さまが明るい笑顔で集い、祝詞を奏上し、讚美歌を声いっばいに歌うひとときは、まるで家族が集うような、あたたかい時間です。世代を超えて心を寄せ合い、支え合いながら歩んできた40年。この信仰の輪が、これからもさらに広がっていくことを願っております。静岡駅より徒歩15分、城下町の賑やかな場所にあります。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

(文 奥村智代)



節分大祭 地方祭員奉仕

二度目の地方祭員として奉仕させて頂きました。祭典中、私は筆舌に尽くしがたい「大幸福」に包まれていました。万象が光り輝き、大神様を色濃く感じる鮮明な世界。しかし同時に、肉体はあちこちが悲鳴を上げ、激痛との戦いでもありました。

この極限状態は、まさに「人生の縮図」だと感じました。私たちは「霊主体従」の理の中にあり、本来は大神様の至福の中に生かされています。しかし肉体を持つ以上、苦難に直面すると、つい神様の中にいることを忘れてしまいます。人型に祈念を込める中、人々の悩みや痛みの中には、常に大神様の慈愛があるのだと深く胸に刻まれました。

終盤、視界に入る全ての人々が尊き神様として輝いて見えました。その美しさに打たれる中、私は自らの想念という「刀」を鞘に納め、無理をせず、全てに感謝し、全てに謝罪して、「かなが



(文 長谷川玄)

長谷川さんはこの度、岐阜主会から静岡分苑志太支部に入られました。どうぞよろしくお願いたします。

たかね会 活動報告

1月に東京本部にて八雲琴のお弾き初め会があり、静岡からは4名参加しました。

能舞台での演奏で緊張しましたが、お稽古を通して東北や関東の方々との交流を深めることができました。

今年も東京本部での強化練習と静岡分苑での全体練習を予定しています。また、分所支部でも個人練習を行います。

(文 谷田阿井子)